



日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1403 2017年4月23日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は5月18日(木)です。

午後4時～6時(要予約)

教材としての「教育勅語」容認

～森友学園の幼稚園教育から見えてくるもの～

いま、安倍政権の「教育勅語を教材とすることを否定しない」とした閣議決定に批判が広がっています。

答弁書では「憲法や教育基本法に反しないような形で」教材に用いるのは否定しないというもの。

しかし、1948年(昭和23年)に「教育勅語は憲法と教育基本法に反する」として衆参本会議で「排除・失効確認」が決議されたものです。当時の松本淳造文教委員長はこの決議の趣旨説明で「部分的に良い点がある」という意見に対しても、「教育勅語の枠内にある以上、その勅語そのものがもつ根本原理を認めることはできない」と述べたのです。

国会で「憲法に違反しないで、教育勅語を肯定的に教えることがありうるのか」という共産党の質問に対し、松野博一文科相

は、教材として使う例としては「戦前の歴史を批判的に学ぶ場合」しか上げられませんでした。

しかし、義家弘介文科副大臣は、教育現場の朝礼などで朗読することは教育基本法に反しない限り問題ないとまで言っています。

「教育勅語」とは

教育勅語は1890年(明治23年)に天皇の御言葉として出されました。

「親孝行し、兄弟仲良く、夫婦は助け合い・・・」など12の徳目が並んでいることを上げ、「時代が変わっても不変の真理ではないか」という人がいます。

教育勅語は、12の徳目を並べた後「・・・のことは、皆これ、大御心(おおみこころ)にたてまつり、天業の恢弘(かい

こう)を扶翼(ふよく)し奉る所以(ゆえん)であり、悉く(ことごとく)忠の道である」としています。

「忠の道」とは「天皇に随順する道」のことであり、「一旦緩急あれば義勇公に奉じ」ることに繋がっています。

教育勅語が発布された翌年、教育勅語の解説書が出されました。

そこには、「臣民たるものは・・・、唯、徴兵の発令に従いて己の義務を尽くすを要す・・・真正の男子にありては、国家のために死するより愉快なることなかるべきなり」と説いています。

昭和初期の小学1年生用の国定教科書では、天皇への命がけの「忠義」を教え込み、校長先生が教育勅語を厳粛に読みあげる中、子どもたちは直立不動で頭を下げて聞いたといっています。

こうして天皇のためにと戦争へと駆り立てた「教育勅語」は、戦後の日本国憲法や教育基本法のもとでは「勅語そのものの根本原理を認めない」とした国会決議は国民の大多数の声だったはずでした。

今なぜ「教育勅語」か

学校法人「森友学園」が運営する塚本幼稚園では、小学校建設をめぐる土地疑惑とともに、教育勅語を幼稚園児に暗唱をさせていたことが発覚し、大きな問題となっています。

安倍官房長官：(教育勅語は)大変すばらしい理念が書いてある。(2006年 衆院教育基本法特別委員会にて)

稲田防衛大臣：教育勅語の精神は今も取り戻すべきだと考えている。教育勅語自体が誤っているというのは、私は違うと思う。(2017年3月8日、参院予算委員会にて)

森友学園の籠池泰典氏は、改憲右翼団体「日本会議」の地方組織の役員。この「日本会議国会議員懇談会」の名誉顧問は安倍晋三首相。

今年の2月17日の衆院予算委でも「妻から森友学園の先生の教育に対する熱意は素晴らしいと聞いている」と称賛。稲田防衛大臣も鴻池参院議員も改憲派で教育勅語を礼賛している日本会議のメンバーです。

戦争は教室から始まる

安倍政権は、アメリカと共に世界で戦争できる国づくりを急速に進めようとしています。そうした中、文科省は3月31日に、「銃剣道」を中学校の保健体育の武道の選択種目に加えることを決めました。



銃剣道の試合

銃剣道は防具を着けた状態で、小銃に似せた木銃(もくじゅう)で相手の喉や胴の部分などを突く競技です。旧日本軍の格闘術で、自衛隊の訓練に使われています。

現在でも競技人口の約9割は自衛隊員であるといわれ、今回、銃剣道が学習指導要領における「武道」に含まれた経緯も不透明のままでした。

全国でただ1校、銃剣道をやっている中学校は平塚だった

文科省・スポーツ庁によると、全国で、銃剣道を実施している中学校が1校しかなかった(平塚市立土沢中学校)ため、学習指導要領の改訂案には明記していなかったといえます。

しかし、銃剣道を導入するかのパブリックコメントに「銃剣道を指導要領に加えるべき」という意見が多くあったため加えたといえます。

そのパブコメ期間中の参院外交防衛委員会で、元自衛官の佐藤正久参議員(自民党)が、学習指導要領から「なぜか銃剣道一つだけが外された」と追及。同議員は、銃剣道は「陸と航空自衛隊は全員が最初やるんです。私も当然部隊でもやりました。」と、銃剣道を取り入れるよう求めました。

また、銃剣道を学習指導要領に加えるべきという意見を協力者に働きかけ、組織的にパブコメに意見を書いてもらったことを、自身のブログに書いています。

↓

<http://ameblo.jp/satomasahisa/entry-12256671830.html>

「銃剣道やめさせて」と元自衛隊員

青森県の共産党事務所に、元自衛官の男性から電話がありました。

「銃剣道を中学生に教えるなんて、教育として間違っている。絶対にやめさせてほしい。」と。

銃剣道の有段者であるこの人は「自衛隊の中では銃剣術を職業軍人として教育される。銃剣術は心臓を突く人殺しの術です。心臓(の部分)を突くと1本となる。防具は付けているが衝撃は相当なもの。」と自身の体験を語りました。自衛官の仲間も「これを学校で教えるのは危険だ」と話しているといえます。



実施している中学校では、的は丸いボールであり、剣道や柔道などより怪我也少なく、ゲーム感覚でやれるスポーツだと説明しています。

スポーツとしての目的は何か。一昨年には市内中学校での「職場体験学習」で体験先を自衛隊にした学校もあり、自衛隊が教育現場に入るきっかけ、若者を自衛隊に勧誘する動きと連動しないかという点も懸念されます。

平塚市議会も政務活動費をネットで公開

政務活動費の不正受給が発覚した富山市議会で、今回任期満了による市議選が行われました。その結果は市民の怒りが一定程度発揮されたとは思いますが、「返還したからまあ許す」という部分もあるようです。

しかし、政務活動費の使い方が問われる大きなきっかけを作ったことはまちがいでなく、平塚市議会でもこうした問題を受け、今度の報告から、各議員の政務活動費をネット公開することになりました。

一言で「ネット公開」といっても、どこまでを公開するかという部分では会派で温度差があり、公開後の市民の方々の意識に係ってくると感じています。

「包括ケア・介護保険法改正案」を強行採決

安倍政権が提出した「地域包括ケアシステム強化のための介護保険法改定案」は、浅田真央ちゃんの引退会見で持ち切りになっている中、強行採決されました。

同法案は、一定所得以上の人の利用料を3割負担にする介護保険改悪にとどまらず、「地域共生社会の実現」の名で、高齢者、障害者、障害児などの施策に対する国・自治体の公的責任を大幅に後退させかねない仕組みづくりも盛り込んだ重大なものです。一括して改定する法案数は約30にのぼります。

住民に“丸投げ”の危険も

改悪法案は(1)利用料3割負担を介護保険に初導入するなどの制度改悪(2)「自立支援・重度化防止」などをうたった「地

域包括ケアシステムの深化・推進」が柱です。3割負担は、一昨年8月から2割負担に引き上げられた約45万人のうち、年金収入等340万円以上(単身者の場合)などの約12万人が来年8月から対象になります。「2割」負担に耐えられず特養ホームを退所したケースも出ているのに実態をまともに把握せず、更なる負担増を迫る安倍政権に医療・介護の関係者、家族らは怒りを広げています。

「地域共生社会」の名目で高齢者、障害者などへの施策を一纏めにする「『我が事・丸ごと』地域づくり・体制の整備」は、地域住民の自助・互助に役割を押し付けることに繋がるとの警告が障がい者団体等から出ています。